MR850用ディスポ呼吸回路

VELA

呼吸回路（吸気側のみ加温）の組立

IMI
アイ・エム・アイ株式会社

目次

ページ

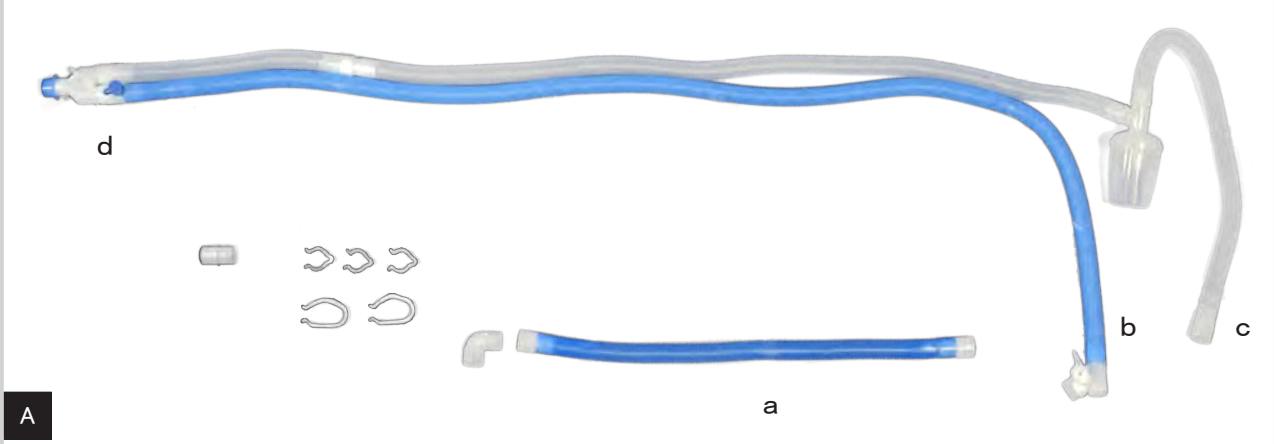
① パーツの準備 …… 2
② 呼気弁／フローセンサ及びカップリングフィルタの取り付け …… 3
③ 加温加湿器用チャンバのセットと蛇管の接続 …… 5
④ ヒーターワイヤーアダプタと温度／フロープローブの取り付け …… 7
⑤ 全体の確認 …… 9
⑥ 患者さんに使用する前の準備 …… 10

VELA MR850 用ディスポ呼吸回路（吸気側のみ加温）の組立

①パーツの準備

以下のパーツを準備してください。

A. 成人用呼吸回路 RT105（C/N 052 01 312）

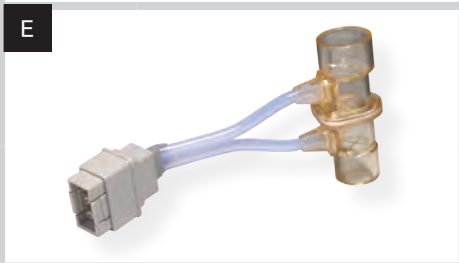


B. チャンバ　MR290
（C/N 052 01 167）

C. 加温加湿器本体 MR850
（C/N 052 01 800）

D. カップリングフィルタ
（C/N 022 01 003）

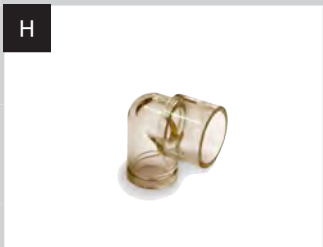
E. フローセンサ
（C/N 109 23 010）



F. 呼気弁ダイアフラム
（C/N 105 23 020）

G. 呼気弁ボディ
（C/N 105 23 110）

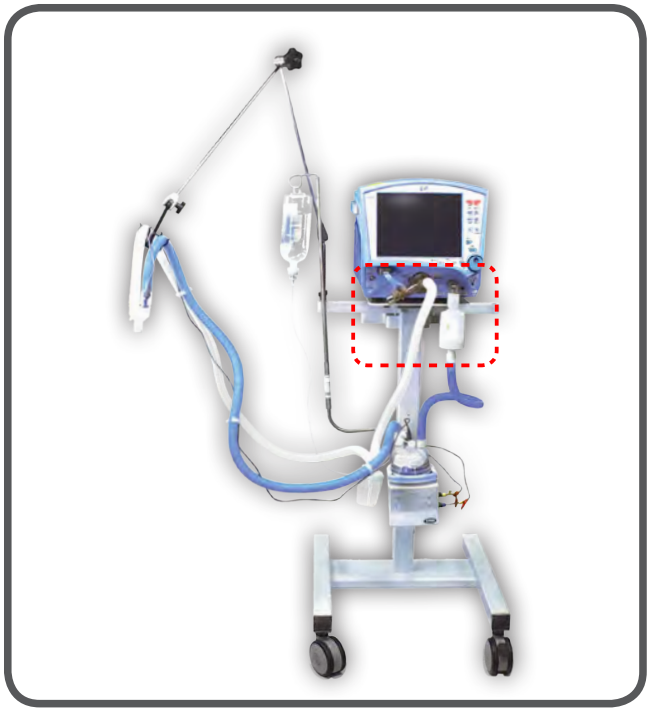
H. エルボコネクタ
（C/N 105 21 042）

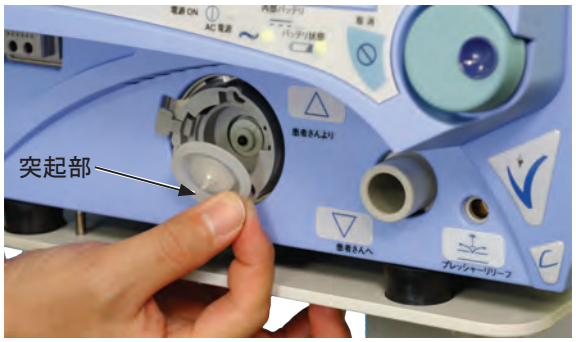


I. ヒーターワイヤーアダプタ
（C/N 052 01 282）

J. 温度／フロープローブ
（C/N 052 01 234）

②呼気弁／フローセンサ及び カップリングフィルタの取り付け





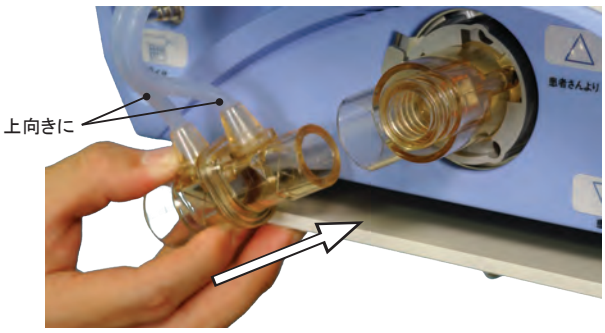
1. 呼気弁ダイアフラムに破損や劣化が無いことを確認し、中央の突起部を外向きにして VELA 本体の開口部に呼気弁ダイアフラム取り付けてください。

注）何らかの損傷が見られる場合は、交換してください。

2. 呼気弁ダイアフラムの縁をゆっくり押して、均等にはめます。呼気弁ダイアフラム中央の突起部が外向きになっていることを確認してください。

注）呼気弁ダイアフラムが均等にはまっていなかったり、突起部が外向きになっていない場合、正常に換気されませんので注意してください。

3. 呼気弁ボディのきりかき部分を VELA 本体の開口部に合わせ、時計回りにカチッと音がするまで、回転させてください。



4. フローセンサが固定されるまで、呼気弁ボディにゆっくりと押し込んでください。

注）水が入ると誤作動の可能性があるので、必ずチューブ（圧力測定ポート）が上向きになるように注意してください。

5. ピンの方向を合わせて、フローセンサのコネクタを VELA 本体のコンセントにしっかりと差し込み、ロック用側板で固定してください。

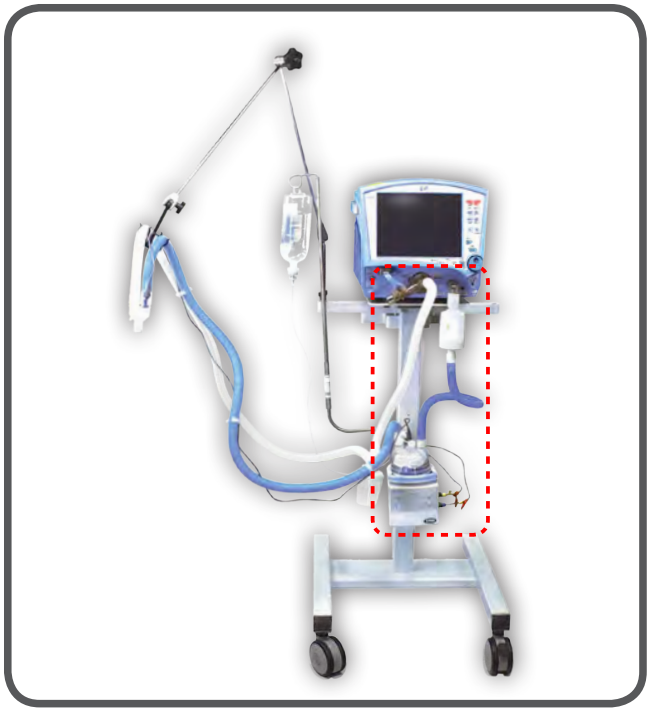
6. 呼気弁ボディとフローセンサが正しく取り付けられていることを確認してください。

7. 吸気ガス出口に、エルボコネクタをしっかりと取り付けてください。

8. 白いカップリングをエルボコネクタにしっかりと挿入してください。

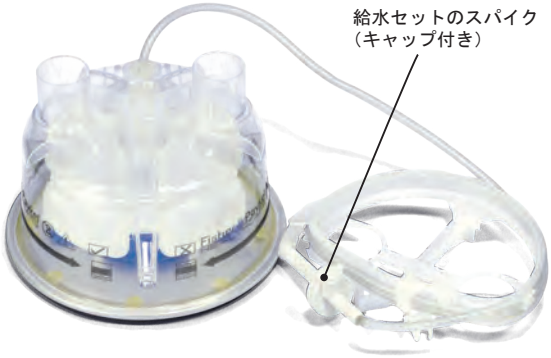
9. 白いカップリングにフィルタをしっかりと挿入してください。フィルタの横についている矢印が下向き（ガスの流れる方向に一致）になっていることを確認してください。

③加温加湿器用チャンバのセットと蛇管の接続



1. チャンバ MR290 を準備し、写真のように青いキャップを矢印の方向に引き抜いてください。

3. 加温加湿器 MR850 のヒータープレートに傷がないことを確認してください。



2. チャンバ MR290 から給水セットをはずしてください。

注）給水セットのスパイク（キャップ付き）は、患者さんへの使用時に滅菌蒸留水バッグに差し込みますので、汚れや破損のないように注意してください。

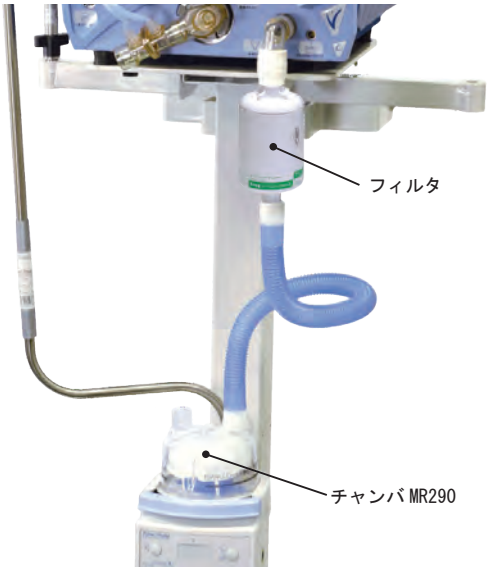
4. フィンガーガードを押し下げてください。

5. チャンバ MR290 をスリットに挿入してください。

8. チャンバ MR290 の残りの接続口に、長い青色の蛇管 (2 ページ　吸気側 A-b) をしっかりと挿入してください。

6. フィンガーガードから手を離し、フィンガーガードが持ち上がり、チャンバ MR290 がしっかりと固定されることを確認してください。

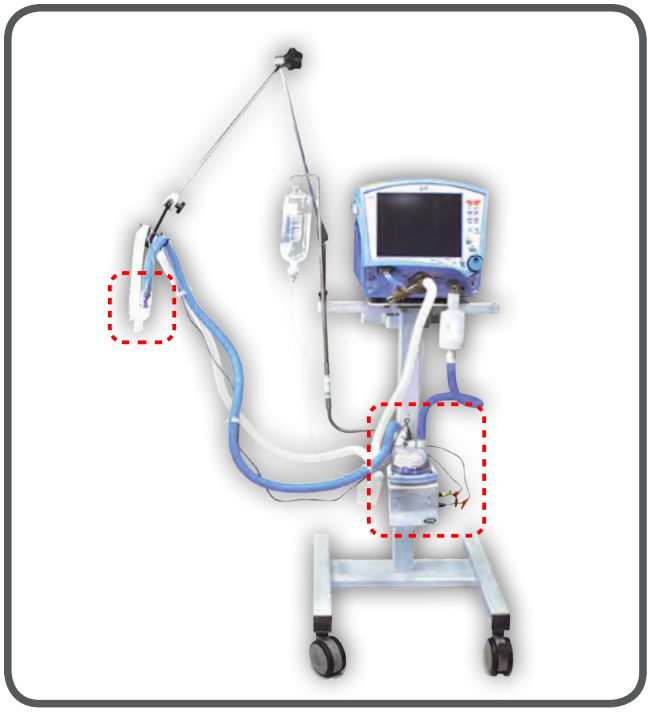
9. 白色の（ウォータートラップがある）蛇管（2 ページ　呼気側 A-c）を本体下面の中央にある呼気弁ボディに接続してください。



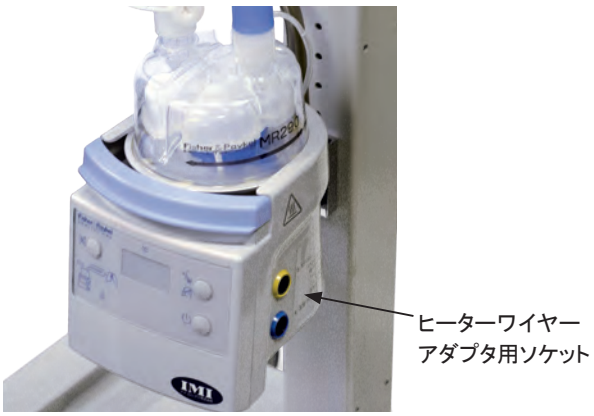
7. チャンバ MR290 とフィルタを呼吸回路セットに含まれる短い青色の蛇管 (2 ページ A-a) で接続してください。

10. 白い蛇管（呼気側）がしっかりと接続されていることを確認してください。

④ヒーターワイヤーアダプタと温度／フロープローブの取り付け



●ヒーターワイヤーアダプタシングルの取り付け



1. 加温加湿器 MR850 の右側面にある 2 つのソケットの上側にヒーターワイヤーアダプタシングルを挿入してください。

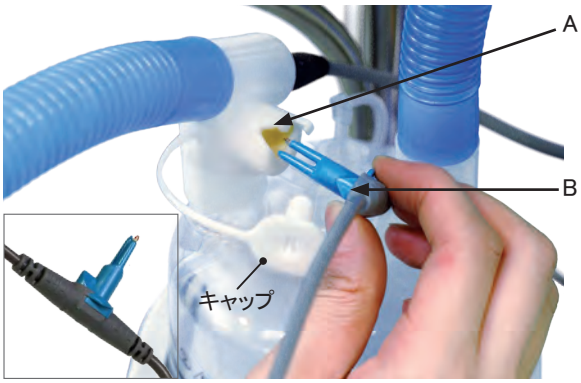
3. ヒーターワイヤーアダプタシングルの向きを吸気側蛇管根元のソケットの向きに合わせて挿入してください。

2. ヒーターワイヤーアダプタシングルの横に見える←→が写真の向きになるよう合わせて、ヒーターワイヤーアダプタシングルを加温加湿器 MR850 に挿入してください。

●温度／フロープローブの取り付け

1. 加温加湿器 MR850 右側面にあるソケット下側に温度／フロープローブを挿入してください。

2. 吸気側蛇管の根元にあるチャンバプローブポートのキャップを外してください。



3. チャンバプローブポート (A) の溝に温度／フロープローブの突起 (B) を合わせて挿入してください。

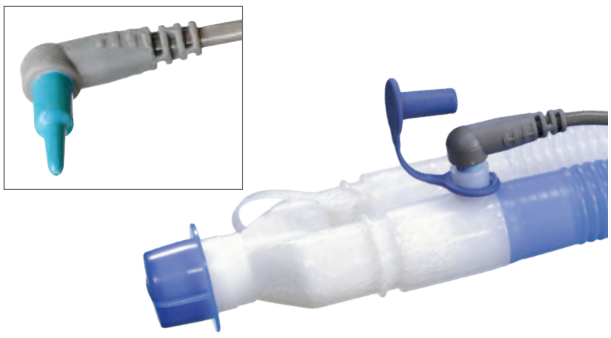
4. 写真のとおり温度／フロープローブをチャンバプローブポートにしっかりと挿入してください。

吸気側蛇管（先端）A-d

5. 次に、温度／フロープローブを吸気側蛇管の先端に挿入します。

6. 吸気側蛇管の青色の温度／フロープローブ用キャップを外してください。

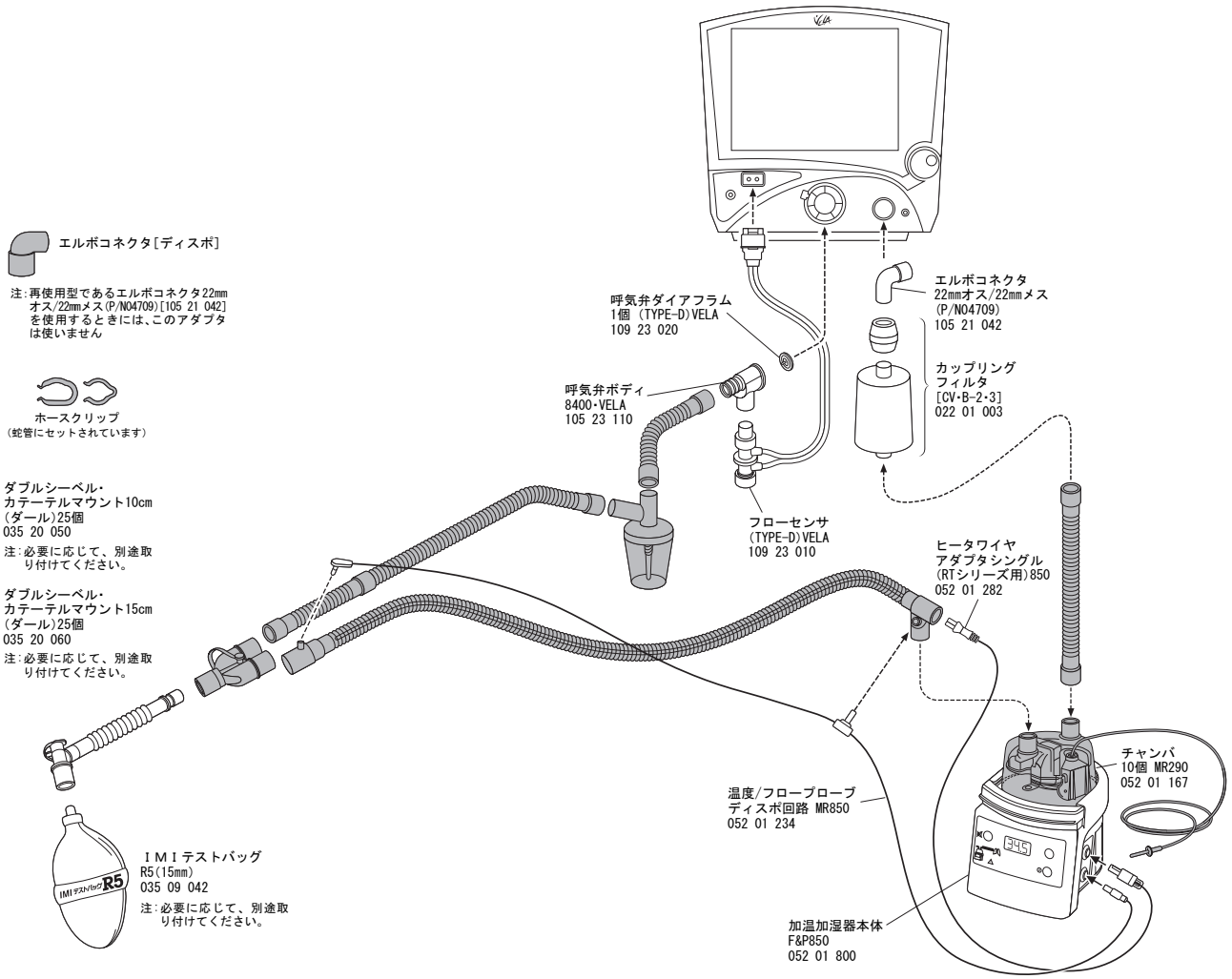
注）白のキャップは圧測定ポート用です。今回は外さないでください。



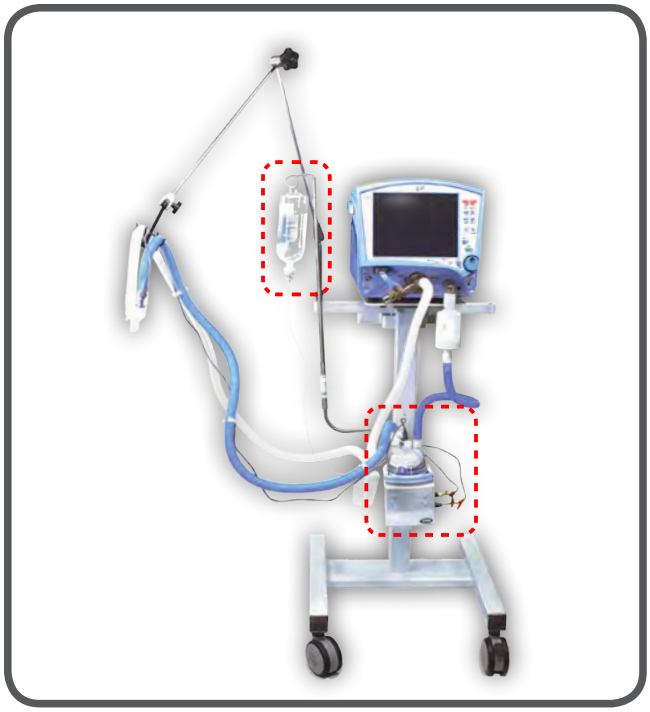
7. 写真のとおり温度／フロープローブをしっかりと挿入してください。

⑤全体の確認

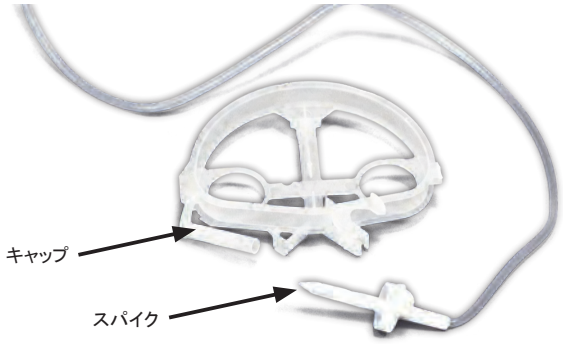
全体が正しく接続されていること、接続部分に
緩みや漏れのないことを確かめてください。



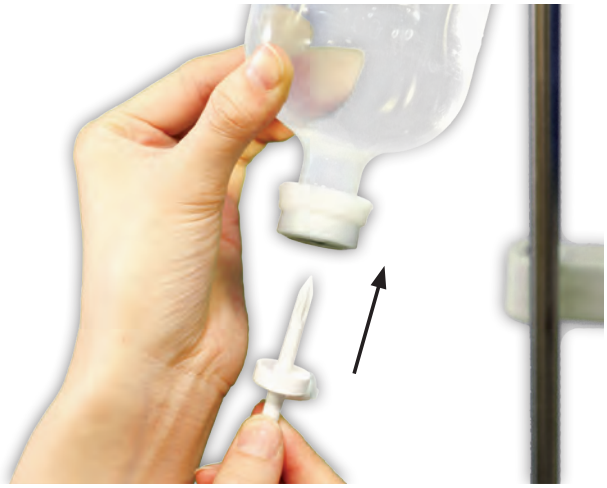
⑥以上で、回路の組立は終了です。



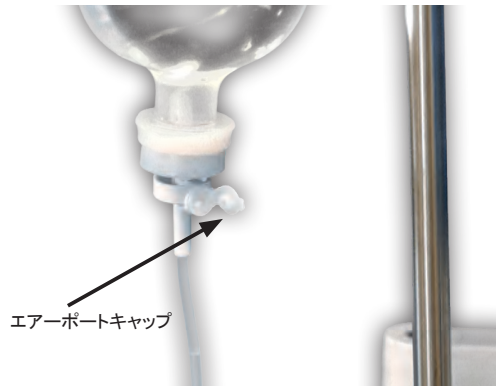
患者さんに使用する前の準備



1. 工程③（5 ページ）でチャンバ MR290 から外した給水セットのスパイク（キャップ付き）のキャップを外してください。



2. 給水セットのスパイクを滅菌蒸留水バッグに刺してください。



3. エアーポートキャップを開け、チャンバ MR290 に注水してください。

4. 適正水位以下で水の注水が止まったことを確認してください。
VELA と加温加湿器 MR850 に電源とガス源を接続し、電源を入れウォームアップしてください。

IMI 日本総代理店 アイ・エム・アイ株式会社

本　社／埼玉県越谷市流通団地3-3-12　〒343-0824　**048(988)4411**(代)　FAX.048(961)1350
札　幌／札幌市東区北22条東16丁目4-21　〒065-0022　**011(787)9010**　FAX.011(787)9005
仙　台／仙台市青葉区上愛子字蛇台原12　〒989-3124　**022(392)6820**　FAX.022(391)1045
埼　玉／埼玉県越谷市流通団地3-3-12　〒343-0824　**048(988)4422**　FAX.048(988)4425
東　京／東京都台東区北上野1-10-14　〒110-0014　**03(5246)9461**　FAX.03(5246)9514
府　中／東京都国立市谷保972-1　〒186-0011　**042(580)4410**　FAX.03(5246)9514
横　浜／横浜市港北区北新横浜2-7-10　〒223-0059　**045(534)1155**　FAX.045(534)1158
静　岡／静岡市葵区本通8-3-3　〒420-0064　**054(255)1278**　FAX.0532(34)1016
東　海／愛知県豊橋市菰口町3-57-2　〒441-8011　**0532(34)1012**　FAX.0532(34)1016
大　阪／大阪府吹田市垂水町1-54-3　〒564-0062　**06(6385)5205**　FAX.06(6368)1333
神　戸／神戸市兵庫区荒田町2-1-34　〒652-0032　**078(579)8250**　FAX.06(6368)1333
奈　良／奈良県橿原市兵部町4-31　〒634-0076　**0744(24)6522**　FAX.06(6368)1333
岡　山／岡山市北区岡町1-6　〒700-0867　**086(803)5510**　FAX.06(6368)1333
香　川／高松市東山崎町435-1　〒761-0312　**087(840)7066**　FAX.06(6368)1333
福　岡／福岡市博多区那珂1-2-2　〒812-0893　**092(473)1871**　FAX.092(415)5335

Eメール **support@imimed.co.jp**　ホームページ **http://www.imimed.co.jp**